

わたしのこれからノート はじめの一步

Ver.2



❀ わたしのこれからノート はじめの一步 について

この用紙は、ご本人の思いや希望を医療スタッフが理解し、支援に活かすためのものです。
病状や治療内容に関わらず、当院にご入院されるすべての方にお渡ししています。
「今すぐ決める」ためではなく、「今の考え」を残す第一歩です。内容はいつでも変更できます。

1. 医療者に聞きたい・話したいことについて

この欄は、治療や療養について、医療者に聞いてみたいことや知りたいことを伝えるためのものです。
不安に思うこと、説明を受けたいこと、相談したいことなどがあれば、「その他」にお書きください。
ご記入いただいた内容は、診療(診察)や看護の中で話し合う際の参考にさせていただきます

2. 体調がすぐれないときの判断について

この質問は、もしご自身で判断が難しい状態になった場合に、「誰に相談しながら治療や対応を考えていくか」を知るためのものです。あらかじめ決めておくことで、医療者がご本人の考えを尊重しながら(大切にしながら)、ご家族や大切な方と話し合うことができます。
今すぐ決められない場合や、頼める人が思い浮かばない場合は、そのまま選択していただいて構いません。

3. 延命治療について

この項目は、特に希望がある方のみご記入いただく欄です。
手術中や術後の急変など、回復の見込みがある場合には、もちろん救命処置を行います。
ここでは、あらゆる治療を行っても回復が難しいと考えられる状況になったときに、どのように過ごしたいか、何を大切にしたいか(どのように考えたいか)を共有することを目的としています。
「まだ考えられない」「その時に家族と相談したい」といった記載も大切な意思表示です。

☞ 記入例:

- ・その時の状態で家族と相談したい
- ・できるだけ自然に見守ってほしい
- ・できる限りの処置を希望する など

※今、この場で治療の選択を決める必要はありません。
※病状に応じて、主治医からその都度説明があります。

延命処置の動画



4. 次のステップ:「わたしのこれからノート 深める版」へ

この「はじめの一步」は、今の考えを整理するための簡易版です。
書いてみて、「もう少し自分の思いを整理してみたい」「家族と話すべきか悩んでいる」と思われた方には、より詳しく記載できる「わたしのこれからノート 深める版」をご用意しています。
希望される方には、看護師がご案内しますので、お気軽にお声かけください。

❀ 最後に

この用紙は、将来のために何かを決めるためのものではなく、今の考えを医療者と共有するためのメモです。
書けるところだけで構いません。迷いや揺れがあっても大丈夫です。これからの治療や療養を考える中で、看護師や医療スタッフと一緒に、少しずつ話していきましょう。